

株式会社アジクル / AJI-CLE Co., Ltd.

info@aji-cle.co.jp

<https://www.aji-cle-oss.jp>

<https://www.aji-cle.co.jp>

2025年12月15日

“バングラデシュにおける低炭素エコシステムを通じた気候変動に強い農業のためのイニシアティブ” に関する国際会議の開催について

株式会社アジクル（以下「当社」）は、包括業務提携先である現地財閥 UGI Group、マイクロファイナンス機関 NTAR Society for Development（以下、ANTAR）とともに、株式会社両備システムズ様（以下、両備システムズ社）との協賛により、12月2日、バングラデシュ・ダッカにて、“バングラデシュにおける低炭素エコシステムを通じた気候変動に強い農業のためのイニシアティブ”に関する国際会議を開催したことをお知らせいたします。

国際会議の概要

会議名	Farmers' Capacity Building Initiatives for Climate Resilient Agriculture in Bangladesh through Low-Carbon Eco Systems (ICRA-BD Project)
日時	2025年12月2日（火）10:00-14:30
場所	Padma Room, Pan Pacific Sonargaon Dhaka (107 Kazi Nazrul Islam Ave, Dhaka 1215)
首席ゲスト	- Dr. Md. Mahmudur Rahman, Additional Secretary, Ministry of Agriculture, Government of Bangladesh (マムドゥル・ラーマン・バングラデシュ農業省次官補) - Dr. Mohammad Ismail, Vice Chancellor, Noakhali Science and Technology University (ムハマド・イスマイル・ノアカリ科学技術大学副学長)
主賓	- Dr. Mohammad Khalequzzaman, Director General, BRRI (ムハマド・カレクザマン・バングラデシュ稲研究所・所長)
特別ゲスト (現地)	- Dr. Gazi Nurun Nahar Sultana, Chief Scientist, CARS DU (ガジ・ヌルン・ナハル・スルタナ・ダッカ大学先端科学研究センター・主席研究員) - 牧口泰之・在バングラデシュ日本大使館二等書記官 - Dr. Md. Rafiqul Islam, Director (Research), BRRI (ラフィクル・イスラム・バングラデシュ稲研究所・理事（研究部門）)、他
登壇ゲスト (主要)	- Dr. S M Mofijul Islam, Senior Scientific Officer, BRRI, as keynote speaker (モフィズル・イスラム・バングラデシュ稲研究所・上級研究員) (基調講演者) - 南川和則・国際農林水産業研究センター(JIRCAS)・生産環境・畜産領域 主任研究員 - Md. Mahmud Hossain, Deputy Director, Department of Environment (マームド・ホサイン・バングラデシュ環境省環境局 副部長)、他
参加者 (主要)	(政府/国際機関) 農業省、環境省、JICA、IFAD (研究機関/国立機関) IRRI, BARI, BARC, BADC, BINA, SRDI, NATA (大学) バングラデシュ農業大学、ガジブル農業大学、クルナ大学

株式会社アジクリ / AJI-CLE Co., Ltd.

info@aji-cle.co.jp

<https://www.aji-cle-oss.jp>

<https://www.aji-cle.co.jp>

	(民間/NGO) CIMMYT, INAFI, SAF, UBICO, ASA, Buro Bangladesh, Dascoh
主要議題	<ul style="list-style-type: none">- 2025 年実証結果の紹介- バングラデシュにおける AWD 農法導入の効果、価値（農業開発、科学的見地）- 全世界/バングラデシュにおけるカーボンクレジットに関する取組みと期待される効果、価値- 今後の ICRA BD プロジェクトの展望と期待

2025 年 2 月以来、弊社は、両備システムズ社による経済産業省のグローバルサウス未来志向型共創等事業の下での農業を通じたカーボンニュートラル事業、農業 DX 事業の実証に参画して参りました。

本会議は、産官学それぞれの分野から、またバングラデシュあるいは海外から、農業開発・カーボンニュートラルに関する知見・技術をお持ちの多様な専門家、団体/企業代表者に参加いただき開催されました。

本会議では、本実証における「実証エリア 5,697ha への展開（3期合計）」「メタン排出量の最大約 40%削減」「AWD 農法による通常農法対比約 20%の生産性向上」といった成果を報告するとともに、各専門家より AWD 農法の節水・カーボン削減・生産性向上等の効果に係る科学的研究結果、カーボンクレジットを巡る世界・バングラデシュにおける動向などが共有され、活発な意見交換もなされました。

弊社は、本実証を通じて、同事業を”Initiatives for Climate Resilient Agriculture in Bangladesh: through Low-Carbon Eco Systems (ICRA-BD Project *)”と命名し、産（民間・NGO）・官・学連携による包括的な農業開発・農家のキャパシティ開発を目的とした事業としての展開を目指しております。

今後も、本事業を通じて日本・バングラデシュ間の産官学連携による研究開発、事業開発を通じた社会課題解決を推進いたします。

引き続き、弊社は、パートナーである UGI Group、ANTAR との包括提携の下で進めて参ります。

以上

* “ICRA”（イクラ）は、イスラム教義において、預言者ムハンマドが最初に受けた神の啓示における冒頭の言葉、アラビア語で「読め」「学べ」「宣言せよ」との意を持つ”Iqra”と同音であり、人々に馴染みやすく、またその意味においても事業の重要な点を指し示すものとして、ANTAR にて命名いただきました。

株式会社アジクル / AJI-CLE Co., Ltd.

info@aji-cle.co.jp

<https://www.aji-cle-oss.jp>

<https://www.aji-cle.co.jp>



(ラーマン次官補への記念盾贈呈)



(アジクル渡辺による事業概要説明)



(モフィズル・イスラム博士による基調講演)



(エムラヌル・チョードリー・ANTAR 代表による講演)



(会場の専門家・代表者との意見交換。写真中央は、アブバカル・シディクイ BARI 上級研究員)



(第一セッション登壇者、ICRA BD プロジェクトスタッフとともに記念撮影)